

平成29年度「香川県県政世論調査結果(速報)」

香川県では、県政の諸問題について、県民の方々の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とするため、毎年度「県政世論調査」を実施しています。

今年度は、5テーマについて5～6月に調査を実施しました。「県政の重要度と満足度」については、平成14年度から毎年度実施しています。

◆調査の内容

1. 交通マナーについて

交通マナー向上のための広報・啓発の基礎データとするために、交通マナーに関するご意見をお聞きしました。

2. 少子化対策について

今後の少子化対策・子育て支援施策の推進にあたっての参考とするために、少子化対策に関するご意見をお聞きしました。

3. 障害福祉について

「かがわ障害者プラン」(平成30年度～平成32年度)の策定において、県民の障害者福祉に関する意識を計画に反映させるための基礎データとするために、障害福祉に関するご意見をお聞きしました。

4. 選挙啓発について

今後の選挙啓発活動を検討するうえでの参考とするために、選挙に関するご意見をお聞きしました。

5. 県政の重要度と満足度について

「新・せとうち田園都市創造計画」の各施策について、「重要度」と「満足度」をお聞きしました。

◆調査の概要

調査地域	香川県全域
調査対象	県内在住の満18歳以上の男女 3,000人
抽出方法	選挙人名簿層化二段無作為抽出
調査方法	郵送法
調査期間	平成29年5月10日～6月1日
回収結果	有効回収数 1,722 (有効回収率 57.4%)

※詳しい調査結果は11月に発表する予定です。

※回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入しました。このため、百分比の合計が100.0%にならないことがあります。

◆昨年度からの変更点

1. 調査対象年齢の引き下げについて

若年層の回収数を増加させるため、選挙権年齢の引き下げに合わせ、対象年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げました。

2. ウェイトバック集計の導入について

調査結果を県政へ反映させるに当たり、年齢による回収率に差が生じる傾向にあるため、より実態に近い参考値として、ウェイトバック集計の導入を行いました。

今回のウェイトバック集計とは、実際の本県の「年齢別」人口構成比に合わせて、回収結果を補正するものです。

なお、この調査結果は速報のため、主な調査結果については、ウェイトバックした値は記載していません。調査回答者の属性及び単純集計結果（調査票）については、（ ）書きで併記しています。

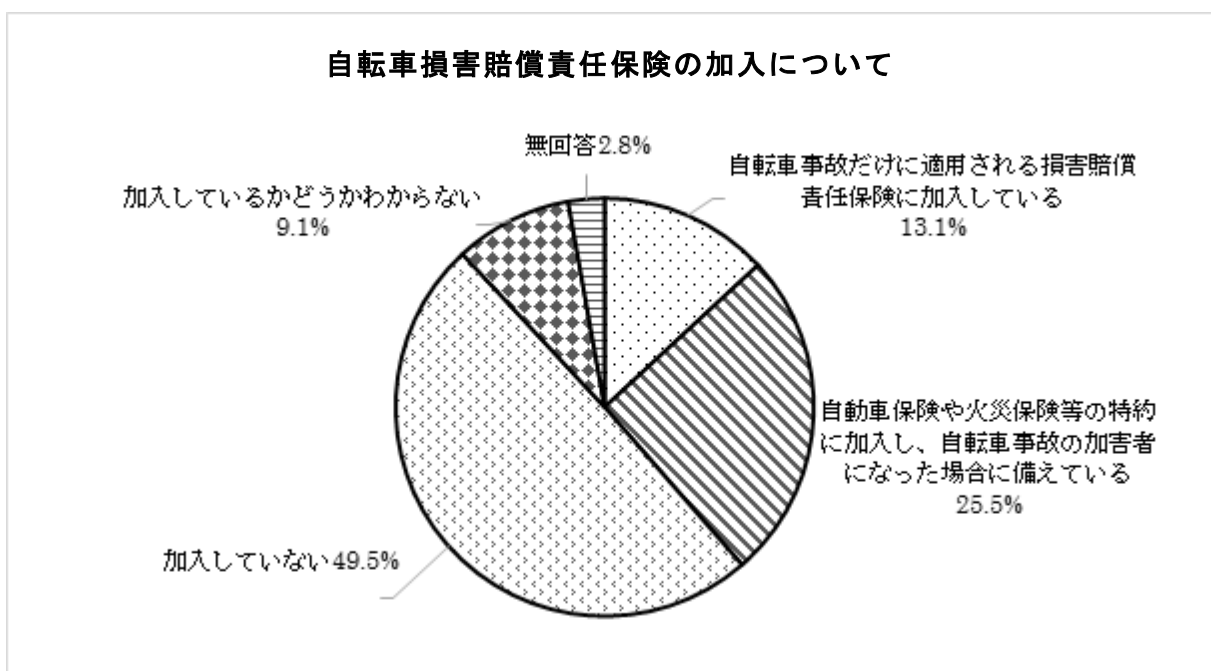
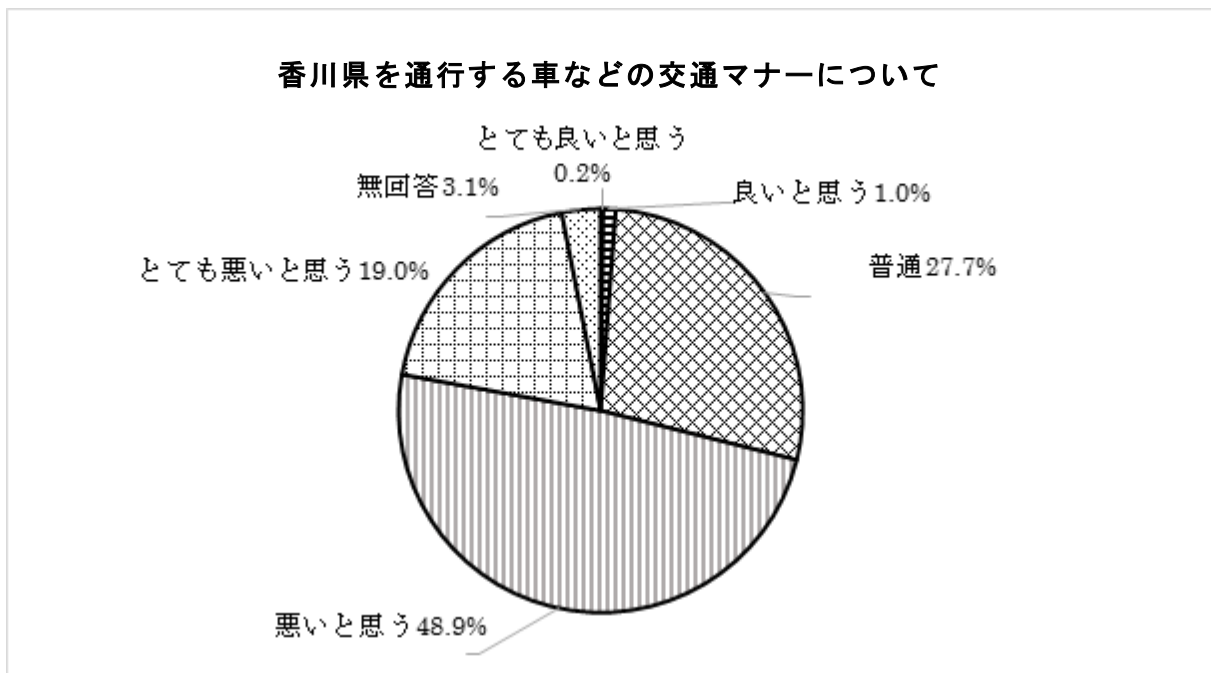
$$\text{ウェイト値} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{年齢区分別回答数}} \times \frac{\text{年齢区分別人口}}{\text{香川県 18 歳以上人口}}$$

◆主な調査結果

1 交通マナーについて

「香川県を通行する車などの交通マナー」について、「悪いと思う」が 48.9%で最も多く、「とても悪いと思う」の 19.0%と合わせて、67.9%が「交通マナーが悪い」と答えている。

また、「自転車損害賠償責任保険の加入」について、「加入していない」が 49.5%で最も多く、自転車事故の備えとして何らかの損害賠償責任保険に加入している割合は、「自転車事故だけに適用される損害賠償責任保険」と「自動車保険や火災保険の特約」と合わせて 38.6%であった。

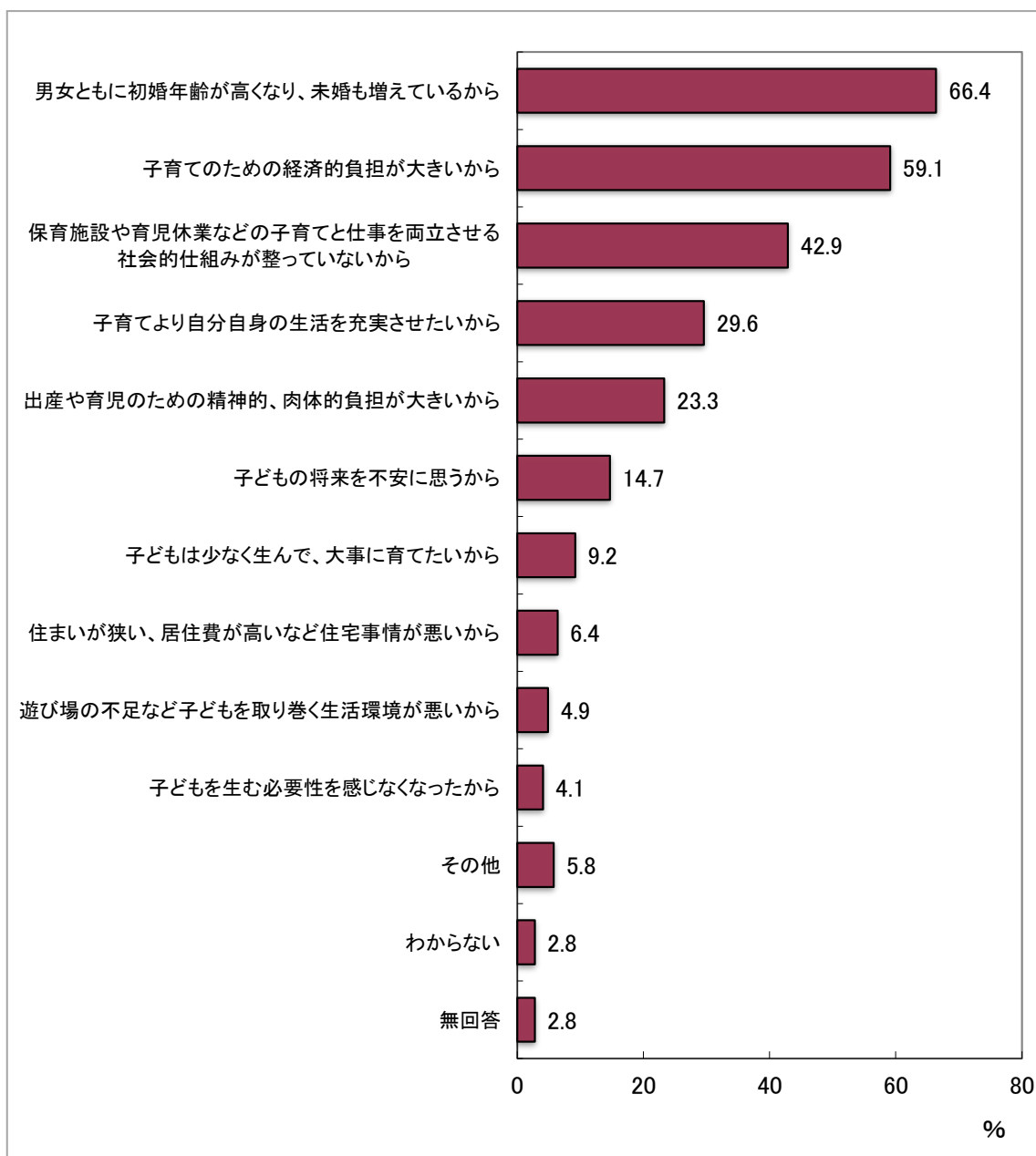


2 少子化対策について

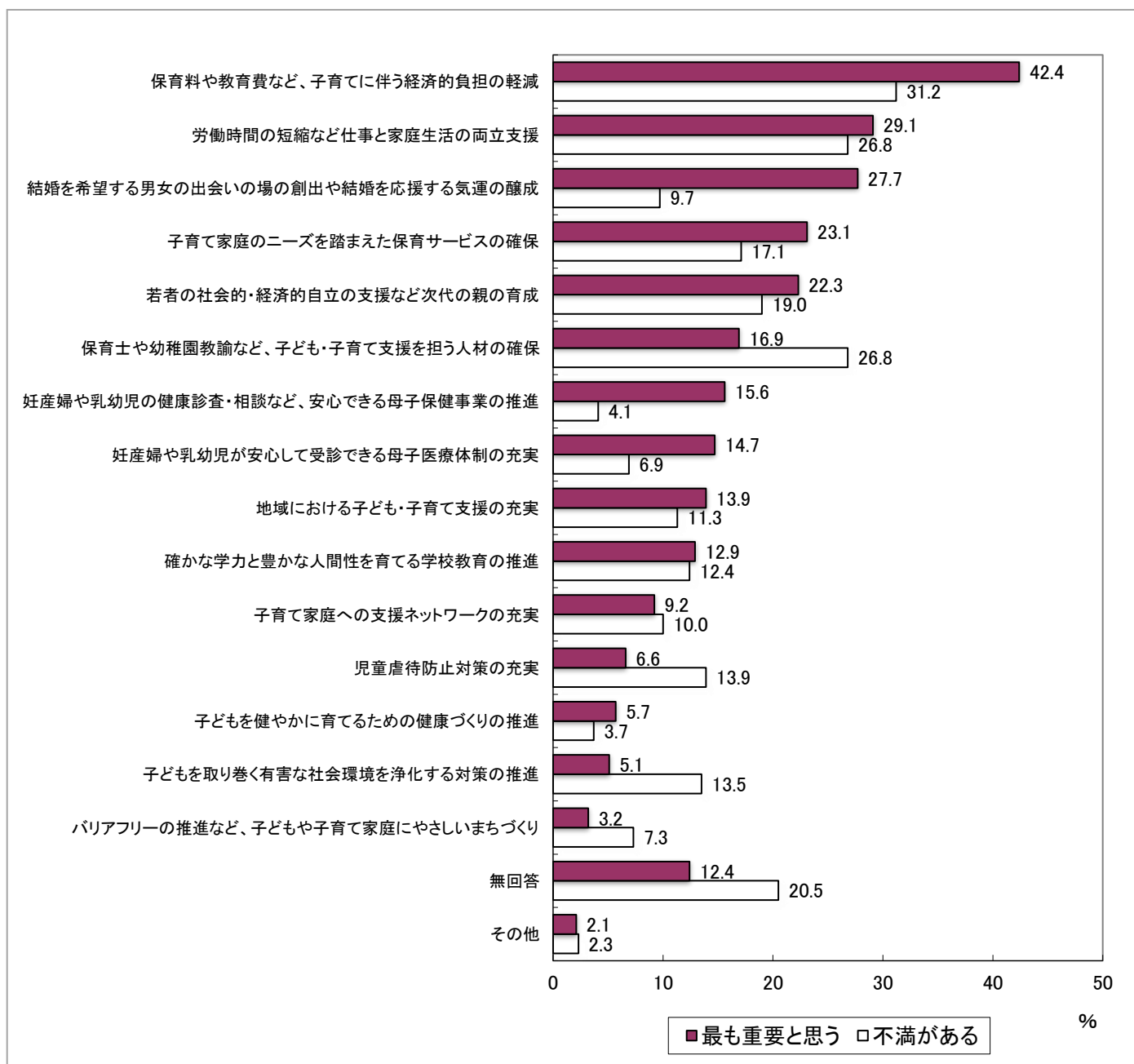
出生率の低下の原因について聞いたところ、「男女ともに初婚年齢が高くなり、未婚も増えているから」と回答した人の割合が最も高く、続いて「子育てのための経済的負担が大きいから」と回答した人の割合が高くなっている。

また、少子化対策・子育て支援施策のうち、最も重要と思う施策及び充実度に不満がある施策について聞いたところ、両者ともに「保育料や教育費など、子育てに伴う経済的負担の軽減」と回答した人の割合が最も高くなっている。（最も重要だと思う施策 42.4%、充実度に不満がある施策 31.2%）

出生率の低下の原因（3つまで）



少子化対策・子育て支援施策のうち最も重要と思う施策と充実度に不満がある施策（3つまで）

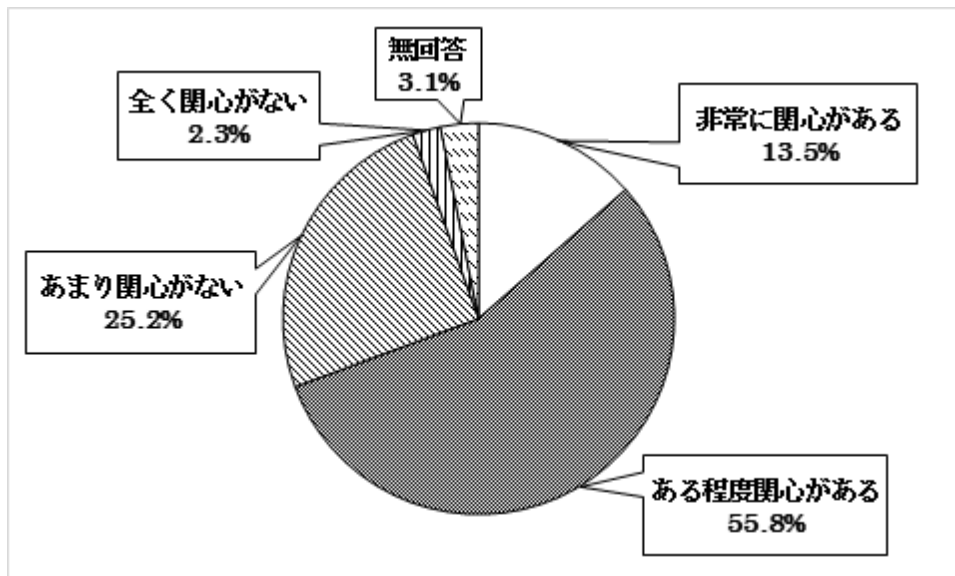


3. 障害福祉について

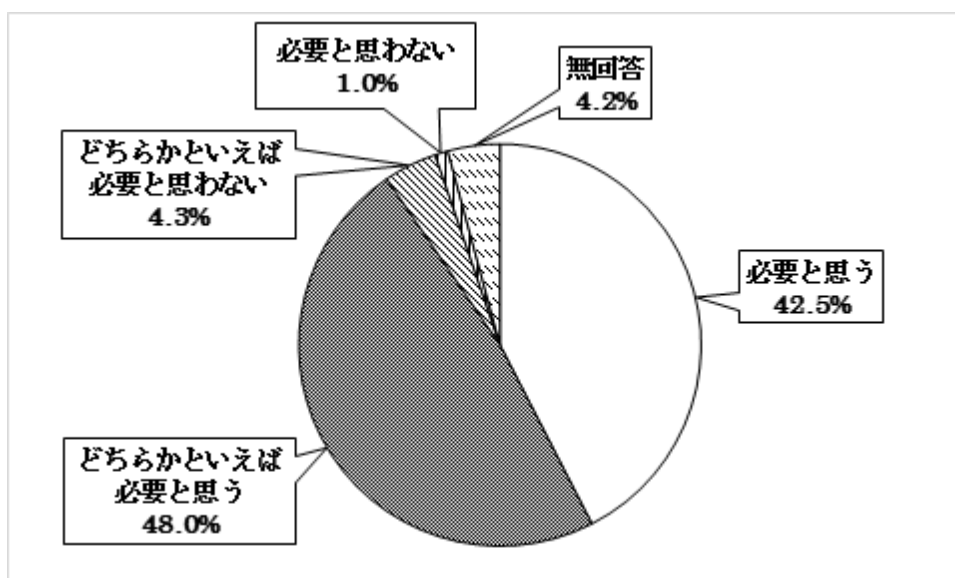
障害者に対する福祉について、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」と回答した人は69.3%となっている。

障害のある方も可能な限り地域において生活できる社会をめざすことについては、90.5%の人が「必要と思う」「どちらかといえば必要と思う」と回答し、そのためには「障害のある方が働く場の確保、充実」や「障害のある方とともに地域で暮らすことに関する住民意識の醸成」などが必要であると回答している。

障害者に対する福祉への関心度について



障害者の地域移行に対する考え

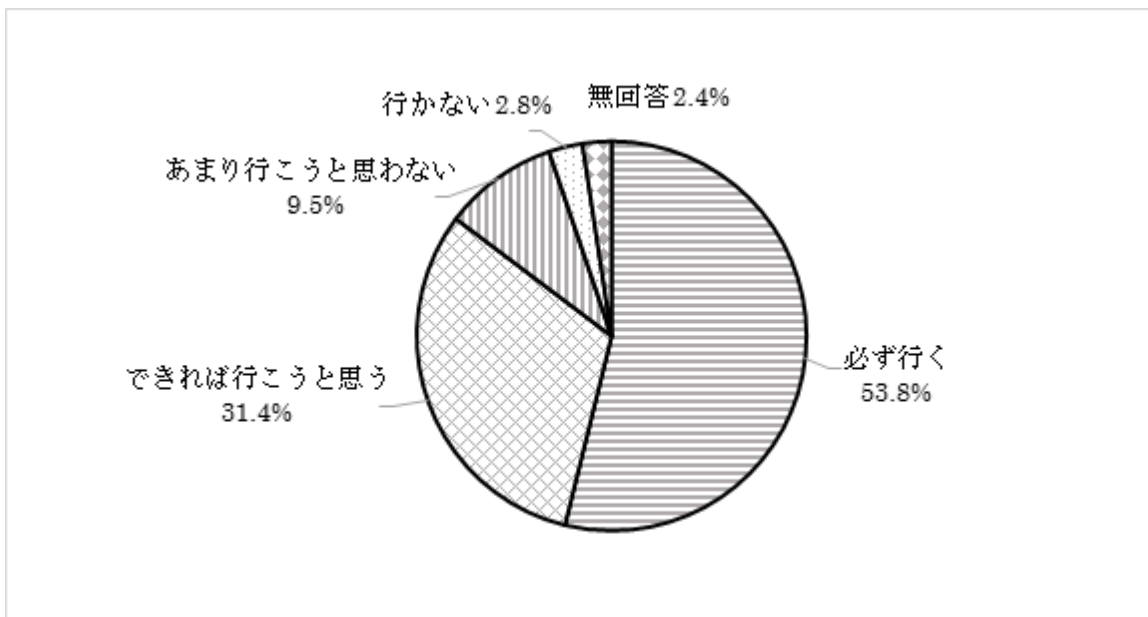


4. 選挙啓発について

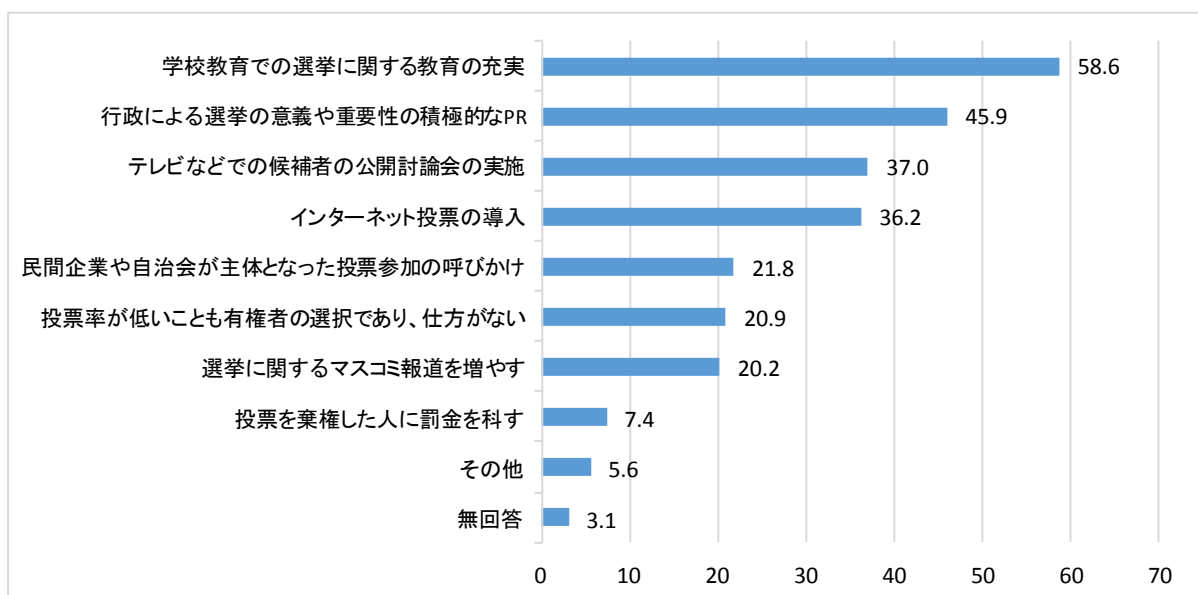
次回の国政選挙で、投票に行こうと思うかという設問については、「必ず行く」の割合が53.8%で最も高く、「できれば行こうと思う」の31.4%と合わせると85.2%が投票に前向きである。

また、国民の選挙への関心を高め、投票率の向上を図るためにはどうすべきかという設問については、「学校教育での選挙に関する教育の充実」が58.6%で最も高く、次いで「行政による選挙の意義や重要性の積極的なPR」が45.9%、「テレビなどでの候補者の公開討論会の実施」が37.0%となっており、「インターネット投票の導入」が36.2%、「民間企業や自治会が主体となった投票参加の呼びかけ」が21.8%と続いている。

次回の国政選挙で、投票に行こうと思うか



国民の選挙への関心を高め、投票率の向上を図るためにはどうすべきか（3つまで）



%

5. 県政の重要度と満足度について

「新・せとうち田園都市創造計画」の各施策（24分野）について、どのくらい重要と考えているか、現状にどのくらい満足しているか、それぞれ五段階で評価を聞いた。

重要度について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた割合は、高い順に『安心できる医療・介護の充実確保』（86.4%）、『防災・減災社会の構築』（85.1%）、『子育て支援社会の実現』（84.0%）であった。

また、満足度について、「とても不満である」と「やや不満である」を合わせた割合は、高い順に『防災・減災社会の構築』（33.1%）、『雇用対策の推進』（31.7%）、『移住・定住の促進』（30.1%）であった。

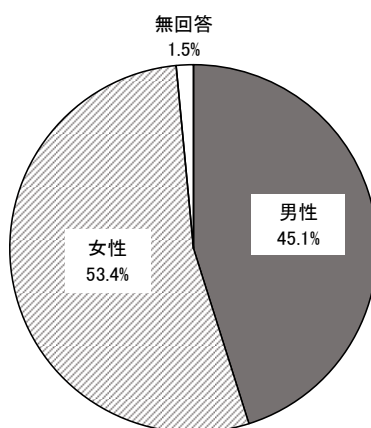
（参考）

「新・せとうち田園都市創造計画」施策体系

基本目標	基本方針	施策（分野）
せとうち田園都市の新たな創造	1 成長する香川	(1) 商工・サービス業の振興
		(2) 農林水産業の振興
		(3) 県産品の振興
		(4) 雇用対策の推進
		(5) 交流人口の拡大
		(6) 交通・情報ネットワークの整備
		(7) 移住・定住の促進
	2 信頼・安心の香川	(8) 子育て支援社会の実現
		(9) 健康長寿の推進
		(10) 安心できる医療・介護の充実確保
		(11) 地域福祉の推進
		(12) 人権尊重社会の実現
		(13) 防災・減災社会の構築
		(14) 安全・安心な暮らしの形成
		(15) 安心して暮らせる水循環社会の確立
	3 笑顔で暮らせる香川	(16) 活力ある地域づくり
		(17) 環境の保全
		(18) みどり豊かな暮らしの創造
		(19) 教育の充実
		(20) 文化芸術による地域の活性化
		(21) スポーツの振興
		(22) 男女共同参画社会の実現
		(23) 青少年の育成と県民の社会参画の推進
		(24) 魅力ある大学づくり

◆調査回答者の属性

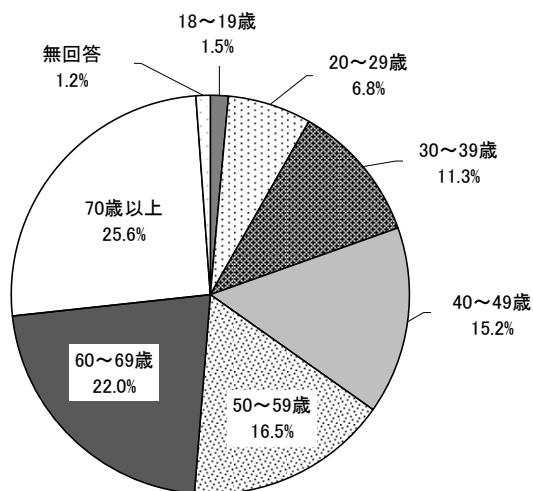
性別



区分	回答者数(人)	構成比(%)
1.男性	777(779)	45.1(45.3)
2.女性	919(916)	53.4(53.2)
無回答	26(26)	1.5(1.5)
合計	1,722	100.0

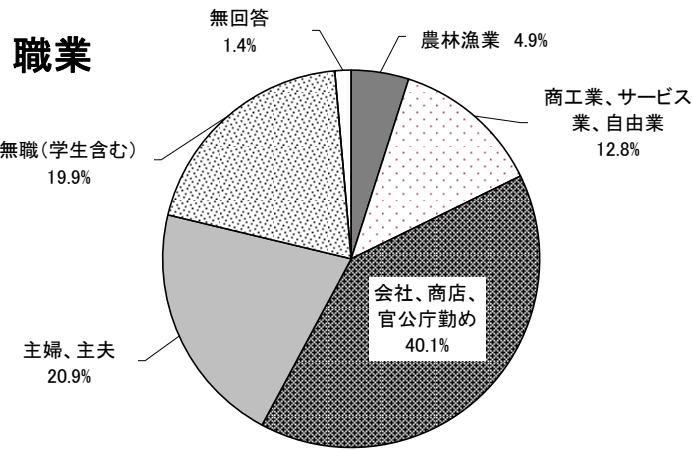
※ () 内の数字はウエイトバックした値

年齢



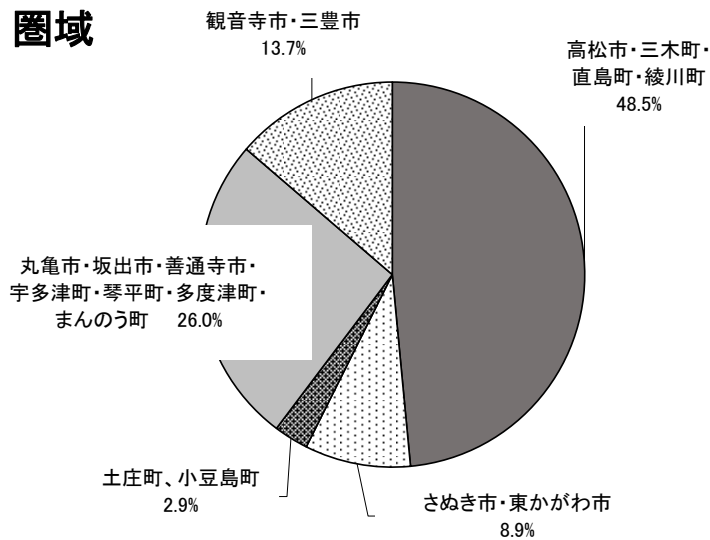
区分	回答者数(人)	構成比(%)
1.18~19歳	25(38)	1.5(2.2)
2.20~29歳	117(164)	6.8(9.5)
3.30~39歳	195(226)	11.3(13.1)
4.40~49歳	262(284)	15.2(16.5)
5.50~59歳	284(236)	16.5(13.7)
6.60~69歳	379(323)	22.0(18.8)
7.70歳以上	440(431)	25.6(25.0)
無回答	20(20)	1.2(1.2)
合計	1,722	100

※ () 内の数字はウエイトバックした値



区分	回答者数(人)	構成比(%)
1.農林漁業	85(80)	4.9(4.6)
2.商工業、サービス業、自由業	221(225)	12.8(13.0)
3.会社、商店、官公庁勤め	690(706)	40.1(41.0)
4.主婦、主夫	360(343)	20.9(19.9)
5.無職(学生含む)	342(344)	19.9(20.0)
無回答	24(24)	1.4(1.4)
合計	1,722	100.0

※ () 内の数字はウエイトバックした値



区分	回答者数(人)	構成比(%)
1.高松市、三木町、直島町、綾川町	835(842)	48.5(48.9)
2.さぬき市、東かがわ市	153(149)	8.9(8.6)
3.土庄町、小豆島町	50(47)	2.9(2.7)
4.丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町	448(452)	26.0(26.2)
5.観音寺市、三豊市	236(233)	13.7(13.5)
合計	1,722	100.0

※ () 内の数字はウエイトバックした値